

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）【医学部医学科】

1. 教育課程の編成・実施等

医学部医学科は、国際認証に相応しい医学教育に基づき、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育カリキュラムを提供するという観点から、教養教育と専門教育の教育課程の編成・実施方針をつぎのように定める。

(1) 教養教育については、以下の学習を実施する。

教養教育は、医師・医学研究者を目指す学生の探究の第一歩となる。

- ・学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多面的価値観に立脚した省察を促す。これにより、高度先端医療や地域医療が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養う。
- ・学生に高度先端医療や地域医療の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供する。これにより、学生が個人およびチームとして問題を解決に挑戦できる力を養う。

(2) 専門教育について

医師・医学研究者を目指す専門教育は、学生の探究の集大成となる。

- ・学生に国際認証に対応した医学的専門知識と技能を体系的に教授することで、医療・医学への洞察を深化させる力を養う。
- ・学生に、医学的専門知識と技能を医療・医学の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供する。これに加えて各専門領域の深い見識と医療倫理・医学倫理も、実践を通して培う。
- ・診療参加型実習を主体に、学生が医療現場の一員として充実した大学生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立させる。

2. 教育・学習方法

- (1) 授業科目のナンバリングを定めて年次配置を厳密に行うとともに、卒業までの履修期間の無理なくかつ効果的な学修を促す。卒業時に修得しておくべき能力（卒業時コンピテンシー）が実践できるように各学年のアウトカムを作成して、カリキュラムを構築する。
- (2) 主体的に学び続け、見通す力と解決する力を涵養する教育を行う。
- (3) 自ら課題を見出し、その解決に向けて探究を進め、成果を表現する実践的な能力を身につけさせるため、学生が主体となる能動的な授業も取り入れる。

3. 学習成果の評価

- (1) 学習成果を厳格に評価するため、カリキュラム・ポリシーに沿って策定された到達目標の到達状況が確認できる明確な成績評価基準を策定し、GPAを用いて教育課程における学習到達度を客観的に評価する。
- (2) 知識、技能及び態度を組み合わせた多面的な評価により、学習成果を評価する。
- (3) 評価の方法には、総括的評価に加えて、各学年のアウトカムに対する形成的評価が含まれる。